

# 土砂災害から身を守るために

広島県



広島県土木建築局砂防課  
土砂災害警戒推進担当

# 土砂災害とは！？

## 土砂災害の 種類

- 土石流
- がけ崩れ
- 地すべり



1

# 土石流とは！？



山や谷（溪流）の土、石、木などが、大雨や長雨等による水と一緒に、すごい勢い（およそ時速20～50km）で流れてくるもの

【出典】NPO法人 砂防広報センターHP  
「砂防ふるさと探検隊」より

2



# 平成30年7月豪雨災害 吳市天応



3

# 平成30年7月豪雨災害

## 熊野町川角



4



# がけ崩れとは! ?



がけの上の家も危険

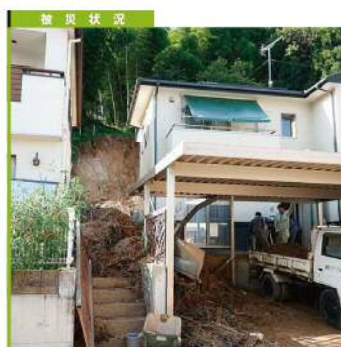
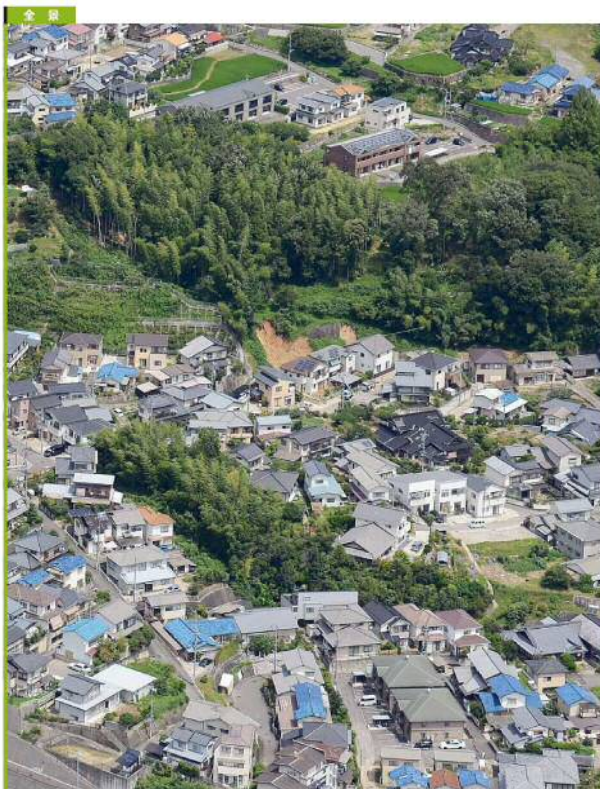


がけの下の家が土砂にうまる

急傾斜地（傾斜の角度30度以上で高さが5m以上のもの）において、大雨や長雨などにより雨水が地面にしみ込み、緩んだ“がけ”が突然崩れ落ちるもの

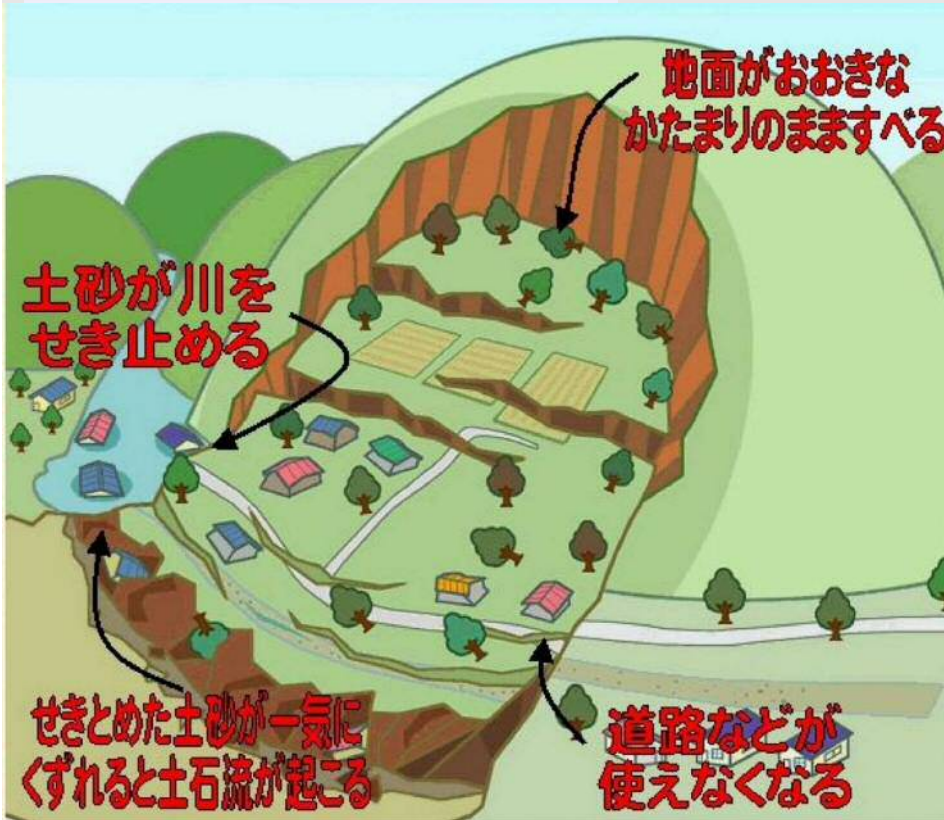
【出典】NPO法人 砂防広報センターHP  
「砂防ふるさと探検隊」より

## 8. 20土砂災害 (平成26年8月20日発生) 広島市安佐南区山本8丁目





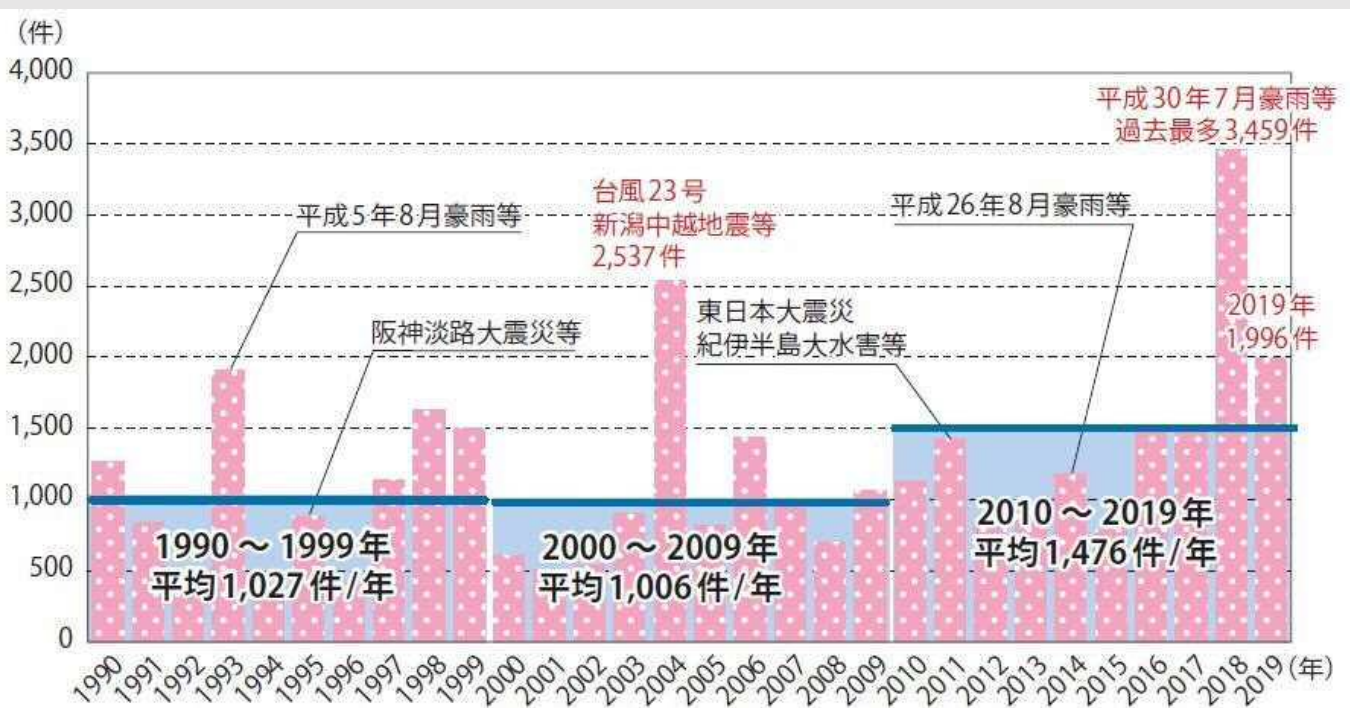
# 地すべりとは!?



大雨や長雨等により雨水が地面にしみ込み、水の力によって持ち上げられた地面が広い範囲にわたりゆっくりと動き出すもの

【出典】NPO法人 砂防広報センターHP  
「砂防ふるさと探検隊」より

## 全国の土砂災害発生件数の推移



【出典】令和2年度国土交通白書より抜粋

# 広島県の主な土砂災害



広島で起きた土砂災害を契機に、砂防関連4法のうち、急傾斜地法、土砂災害防止法が制定されるなど、国の土砂災害防止施策へ影響

| No | 年月     | 要因    | 主な被災地   | 最大時間雨量  | 死者<br>行方不明者 | 関連法令      |
|----|--------|-------|---------|---------|-------------|-----------|
| 1  | S20.9  | 枕崎台風  | 呉市・大野町  | 57.1mm  | 2,012人      |           |
| 2  | S26.10 | ルース台風 | 大竹市・佐伯郡 | 26.2mm  | 166人        |           |
| 3  | S42.7  | 集中豪雨  | 呉市      | 74.7mm  | 159人        | 急傾斜地法制定   |
| 4  | S47.7  | 集中豪雨  | 三次市     | 40.0mm  | 39人         |           |
| 5  | S63.7  | 集中豪雨  | 加計町     | 57.0mm  | 15人         |           |
| 6  | H11.6  | 集中豪雨  | 広島市・呉市  | 81.0mm  | 32人         | 土砂災害防止法制定 |
| 7  | H22.7  | 集中豪雨  | 庄原市・呉市  | 91.0mm  | 3人          |           |
| 8  | H26.8  | 集中豪雨  | 広島市     | 121.0mm | 77人         | 土砂災害防止法改正 |
| 9  | H30.7  | 集中豪雨  | 広島県南部   | 63.0mm  | 154人        |           |



(No.1) 廿日市市(厳島神社)



(No.3) 呉市警固屋



(No.6) 広島市佐伯区

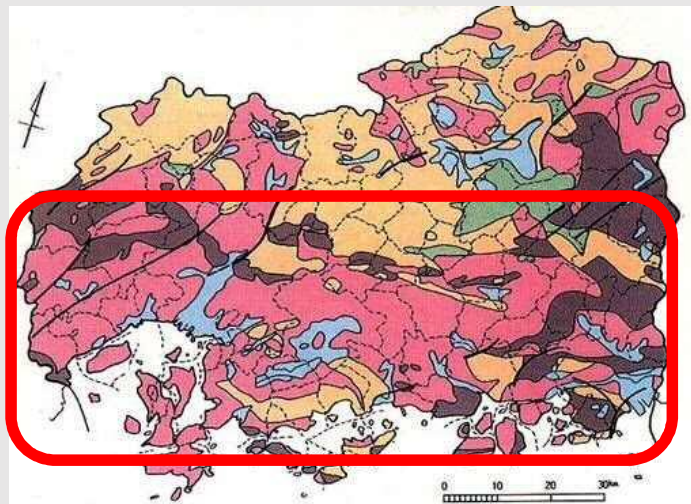
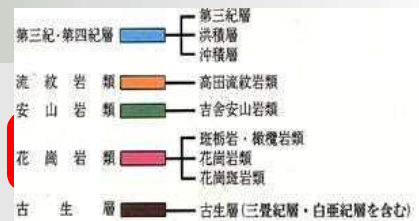


(No.8) 広島市安佐南区

# 広島県の地質



山地岩盤  
マサ土  
薄い表土



- 花崗岩類が県土の48%を占め、人口密集地の県南部に集中して分布 【出典】広島県地質図を加筆修正
- 花崗岩類は、**深部まで風化**が進行するいわゆる「マサ土」と呼ばれる砂質土に変化
- 花崗岩類地質の多くはマサ土に覆われている
- これらマサ土は山地岩盤を覆い、その上に薄い表土がのっている
- **マサ土は脆弱**であること、一旦土砂移動が発生すると大量の土砂流出をまねくことなど、土砂災害発生時の**被害拡大要因**となっている





平野がせまい広島県では、山際への開発が進み県内の土砂災害の危険箇所が増加

1966年

1974年

1986年

1999年



宅地開発の現状  
(広島市佐伯区)

急傾斜危険箇所  
**4箇所**



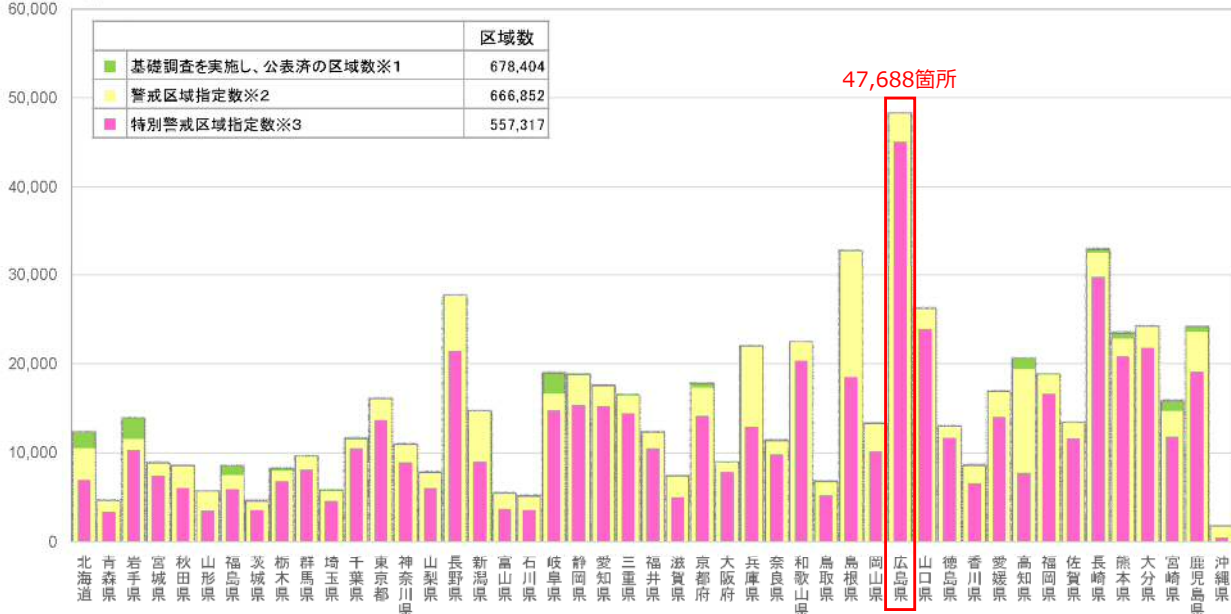
急傾斜危険箇所  
**24箇所**

資料: 国土交通省とりまとめ 11

## 全国の土砂災害警戒区域の指定状況(令和3年6月末時点)



(区域数)



※1. 基礎調査を実施し、公表済の区域数

当該都道府県内における土砂災害のおそれがある箇所について基礎調査を実施し、その結果を関係市町村長に通知するとともに、公表することをいう。令和3年6月末時点の値であり、今後、変更の可能性がある。

※2. 土砂災害警戒区域 (イエロー:警戒避難体制の整備) (土砂災害防止法)

土砂災害が発生した場合には住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域。

※3. 土砂災害特別警戒区域 (レッド:開発行為に対する規制) (土砂災害防止法)

土砂災害警戒区域のうち、土砂災害が発生した場合には建築物の損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域。



# 平成30年7月豪雨被害状況



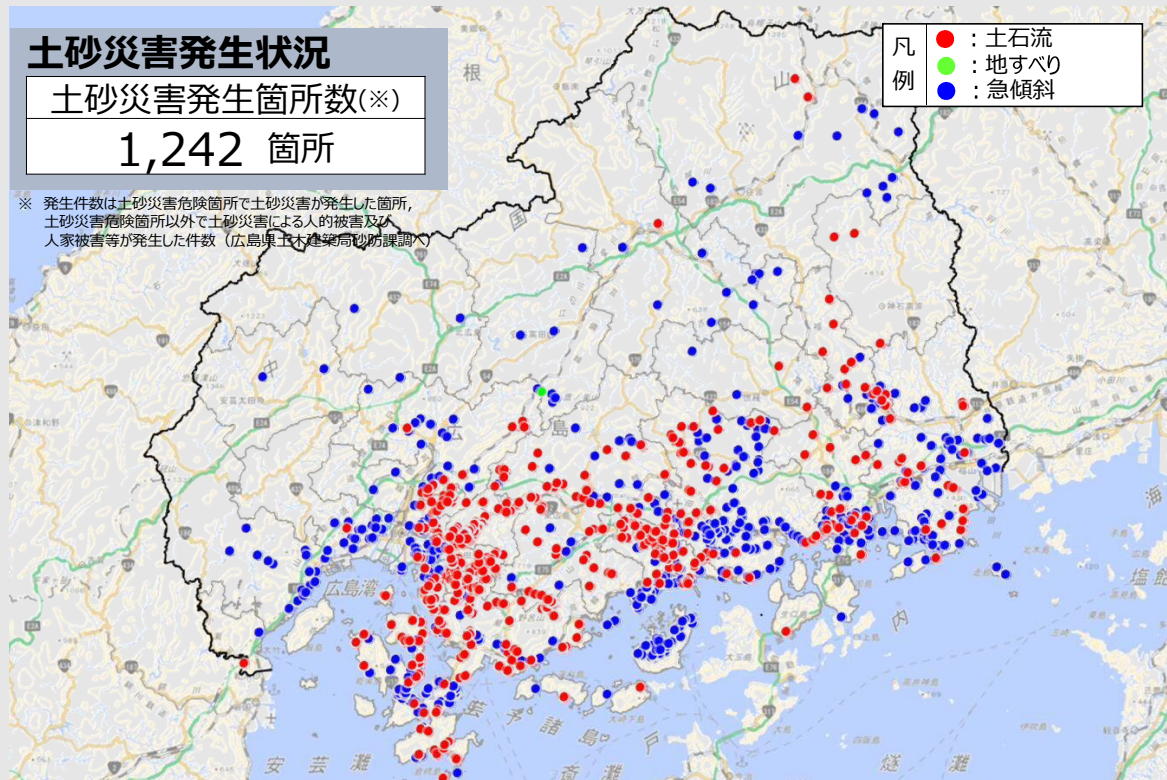
全国で1年間に発生する土砂災害がおよそ1,000箇所  
平成30年7月豪雨災害では、県内だけで1,242箇所の土砂災害が発生

## 土砂災害発生状況

土砂災害発生箇所数(※)

1,242 箇所

※ 発生件数は土砂災害危険箇所で土砂災害が発生した箇所、土砂災害危険箇所以外で土砂災害による人的被害及び人家被害等が発生した件数（広島県土木建築高砂防課調べ）



凡例  
● : 土石流  
● : 地すべり  
● : 急傾斜

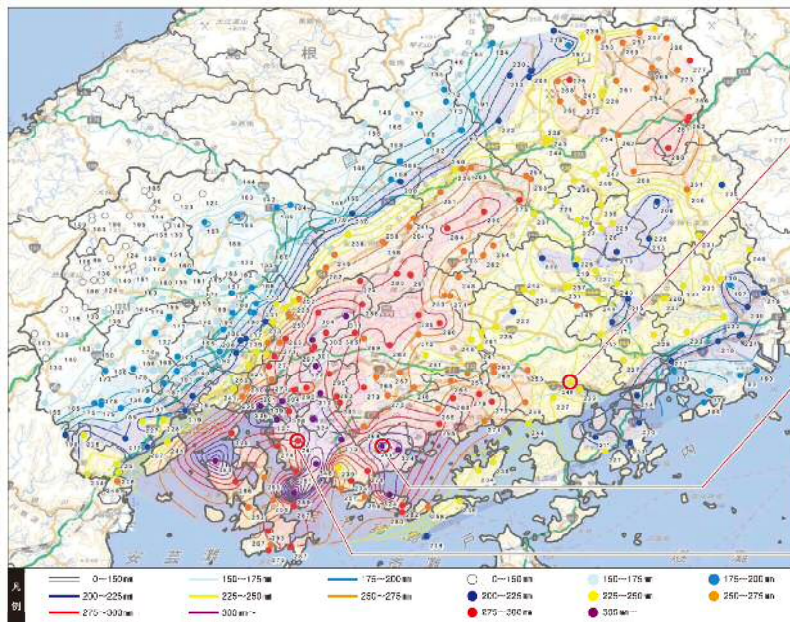
本地図は、国土地理院の電子地形図(タイル)に平成30年7月豪雨での土砂災害に関する被害箇所を追記して作成したものである。

# 平成30年7月豪雨における雨量



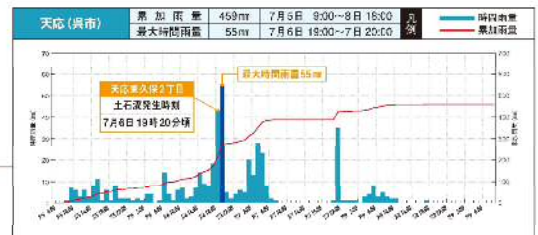
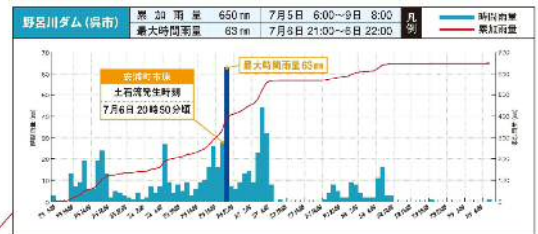
7月4日に日本海中部で台風第7号が温帯低気圧に変わり、温帯低気圧からのびる梅雨前線が西日本に停滞し、暖かく湿った空気が流れ込んだため、広島県では6日昼過ぎから7日朝にかけて大雨となり、安芸太田町を除く22市町に大雨特別警報が発せられた。7月6日12:00~7月7日12:00の24時間雨量は、南西部、南東部、北東部で200mm以上を観測した。北東部の特に多いところでは250mm以上、南西部の特に多いところでは350mm以上を観測した。

●雨量分布図(24時間雨量/2018年7月6日12:00~7月7日12:00)



1.降雨量は、国土地理院の電子地形図(タイル)に使用したデータに基づき、雨量計の位置を考慮して算出されたものである。雨量計の位置は、国土地理院の電子地形図(タイル)に使用したデータに基づき、雨量計の位置を考慮して算出されたものである。

## 観測雨量



●土石流発生時刻は、災害・救助の情報を伝える防災無線で発表された時刻





## <人的被害>

|             |      |
|-------------|------|
| 死亡・行方不明     | 155名 |
| 関連死         | 41名  |
| その他         | 114名 |
| 土砂災害<br>で被災 | 87名  |



【写真提供】三原市

※令和3年3月25日時点

## <その他の主な被害状況>

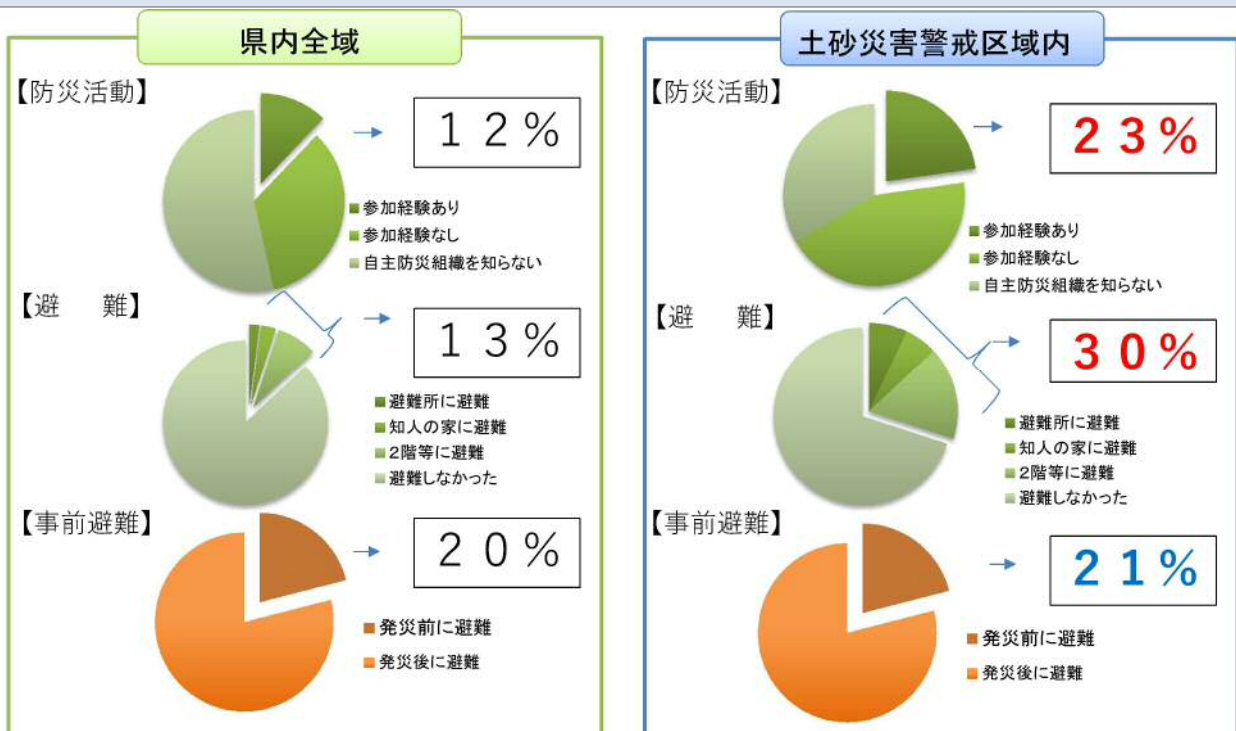
|      |                  |
|------|------------------|
| 土砂災害 | 1,242箇所〔23市町〕    |
| 浸水被害 | 破堤 12河川, 越水 90河川 |

# 警戒避難にかかる課題



### 【住民アンケートの実施結果】

- 土砂災害警戒区域等の指定は、**防災意識の向上や避難行動につながっている。**
- しかし、土砂災害警戒区域等内であっても**事前の避難にはつながっていない。**



平成30年7月豪雨災害を踏まえた今後の土砂災害対策のあり方検討会における土砂災害に関する住民アンケート  
 実施期間：平成30年10月9日～11日 県内の成人男女2037人の対象のうち土砂災害警戒区域等内は237人



# 土砂災害から身を守るために

## 1 土砂災害リスクを『知る』

⇒土砂災害防止法，土砂災害警戒区域等

## 2 危険が迫っていることを『察知する』

⇒土砂災害危険度情報，Yahoo!防災アプリ等

## 3 判断して，適切に『行動する』

⇒防災活動の良好事例

17

## 土砂災害防止法制定のきっかけとなったH11.6.29災害



『土砂災害防止法』(土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律)

平成13年4月1日施行

### 【目的】

土砂災害から国民の生命・身体を保護する

### 【特徴】

・ハード対策としての防災施設の工事ではなく，警戒避難体制の整備等といったソフト対策を推進するための法律

・宅地造成段階や建築段階における立地抑制，構造規制の措置



18

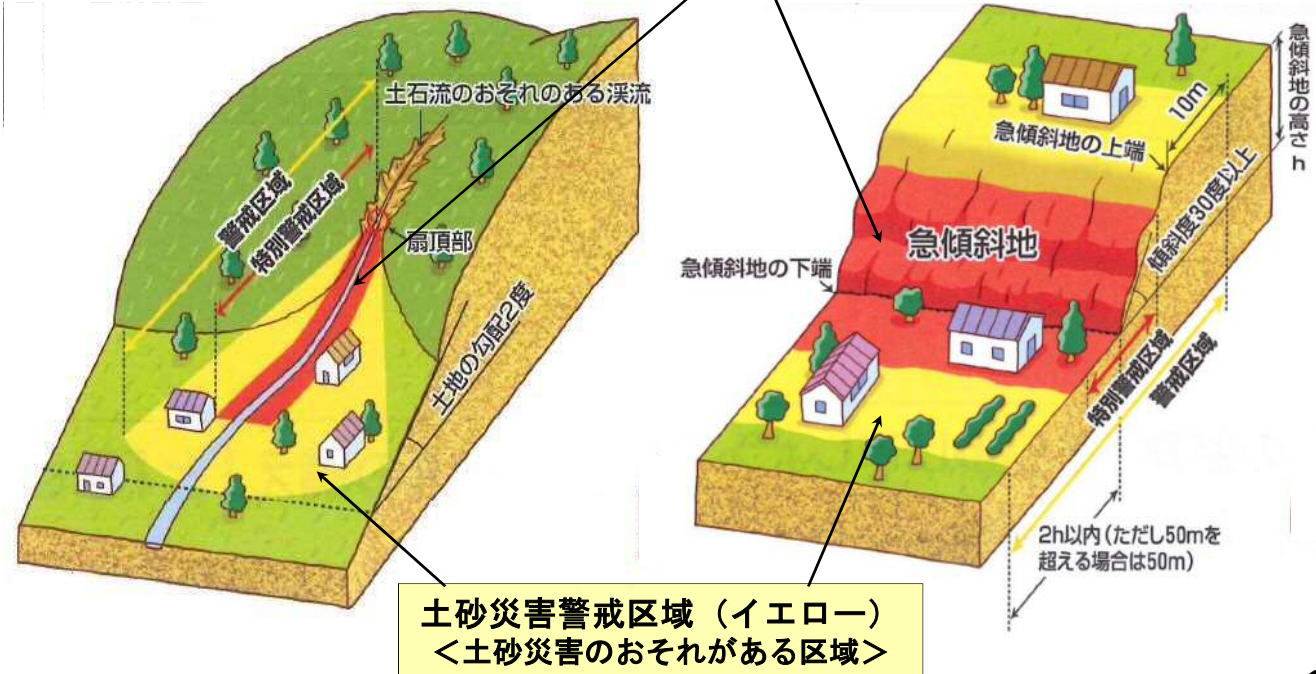




**土砂災害特別警戒区域（レッド）**  
 <建物が破壊され、住民に大きな被害が生じる恐れがある区域>

【土石流】

【急傾斜地の崩壊】

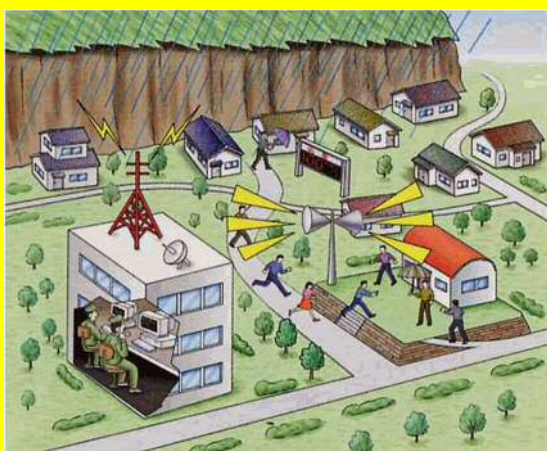


**土砂災害警戒区域（イエロー）**  
 <土砂災害のおそれがある区域>

## 土砂災害警戒区域等に指定されると

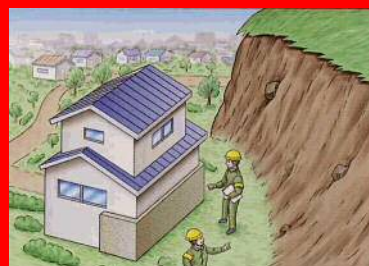


### 土砂災害警戒区域

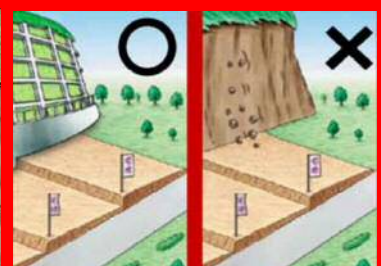


警戒避難体制の整備

### 土砂災害特別警戒区域



建築物の構造規制



特定開発行為の許可制



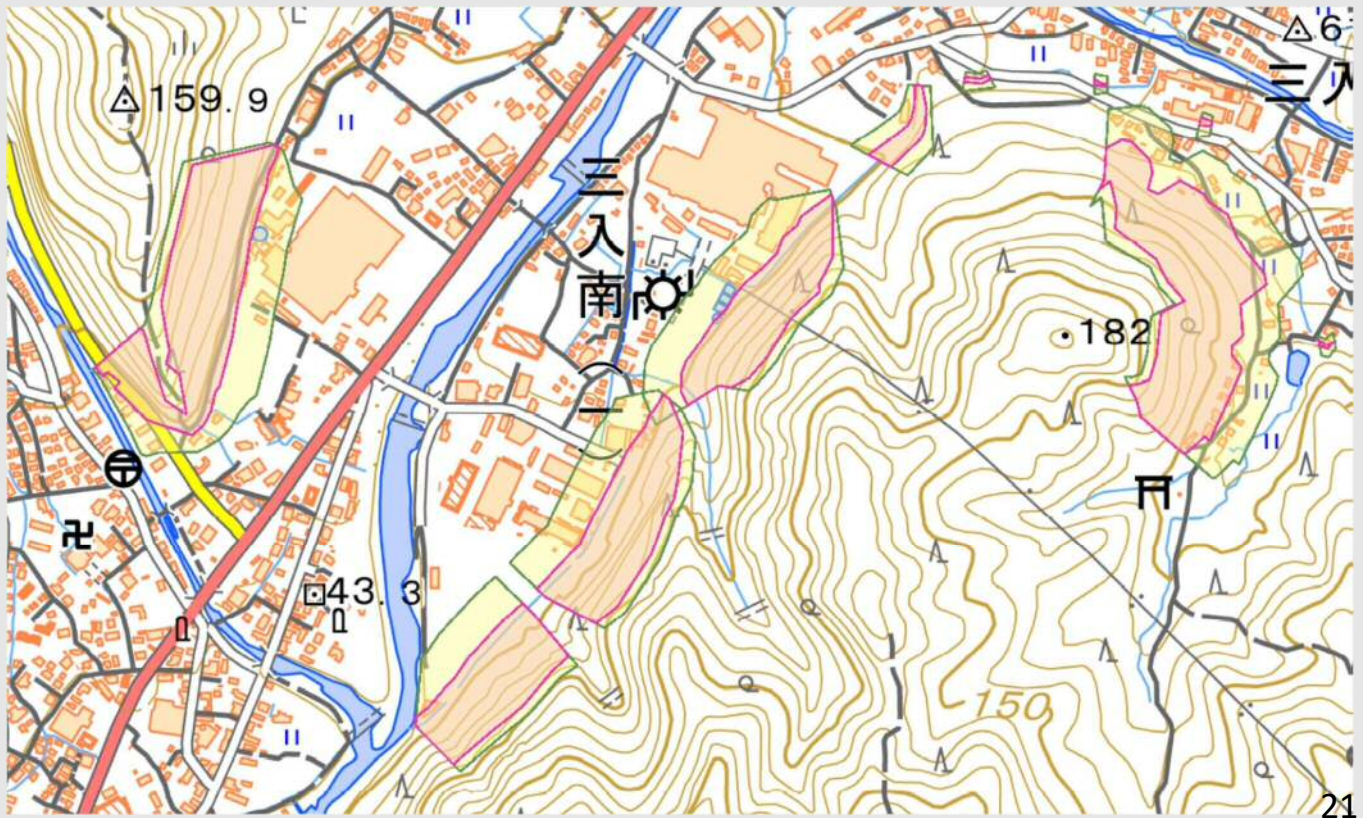
建築物の移転勧告



# 土砂災害警戒区域等の設定



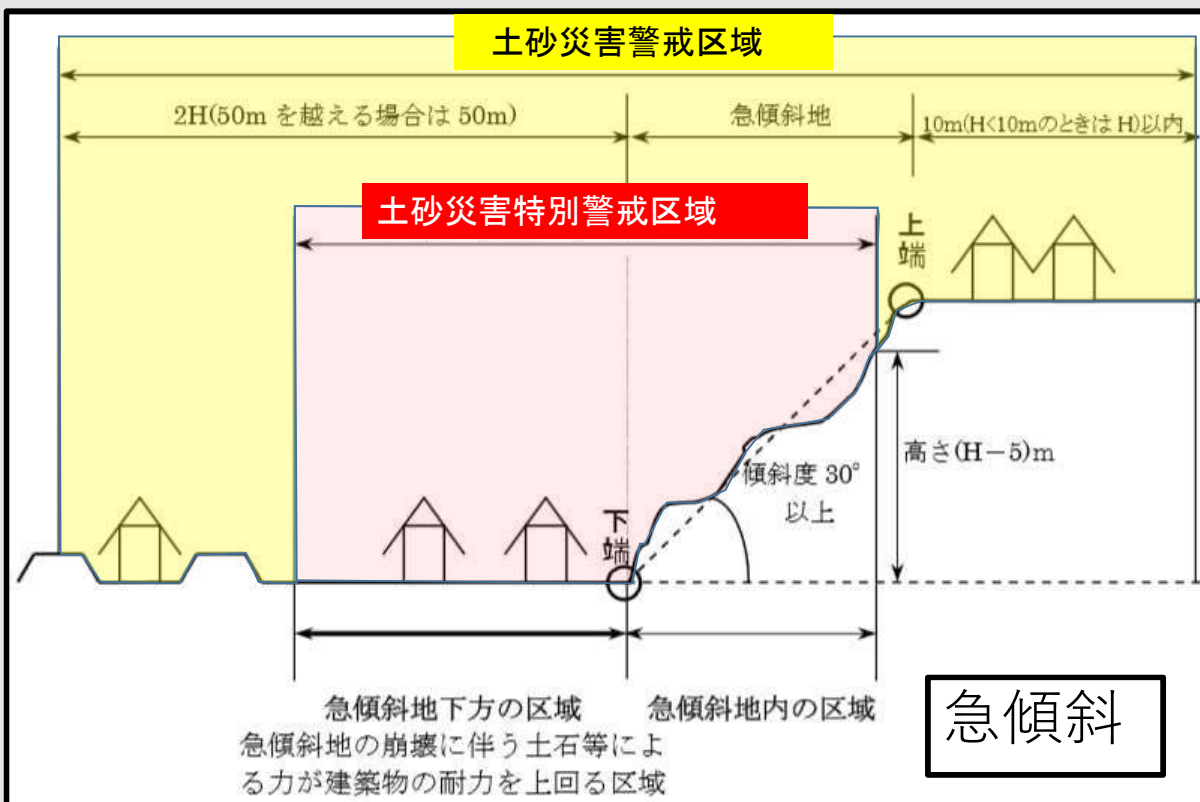
## 急傾斜（がけ崩れ）の場合



# 土砂災害警戒区域等の設定



## 急傾斜（がけ崩れ）の場合

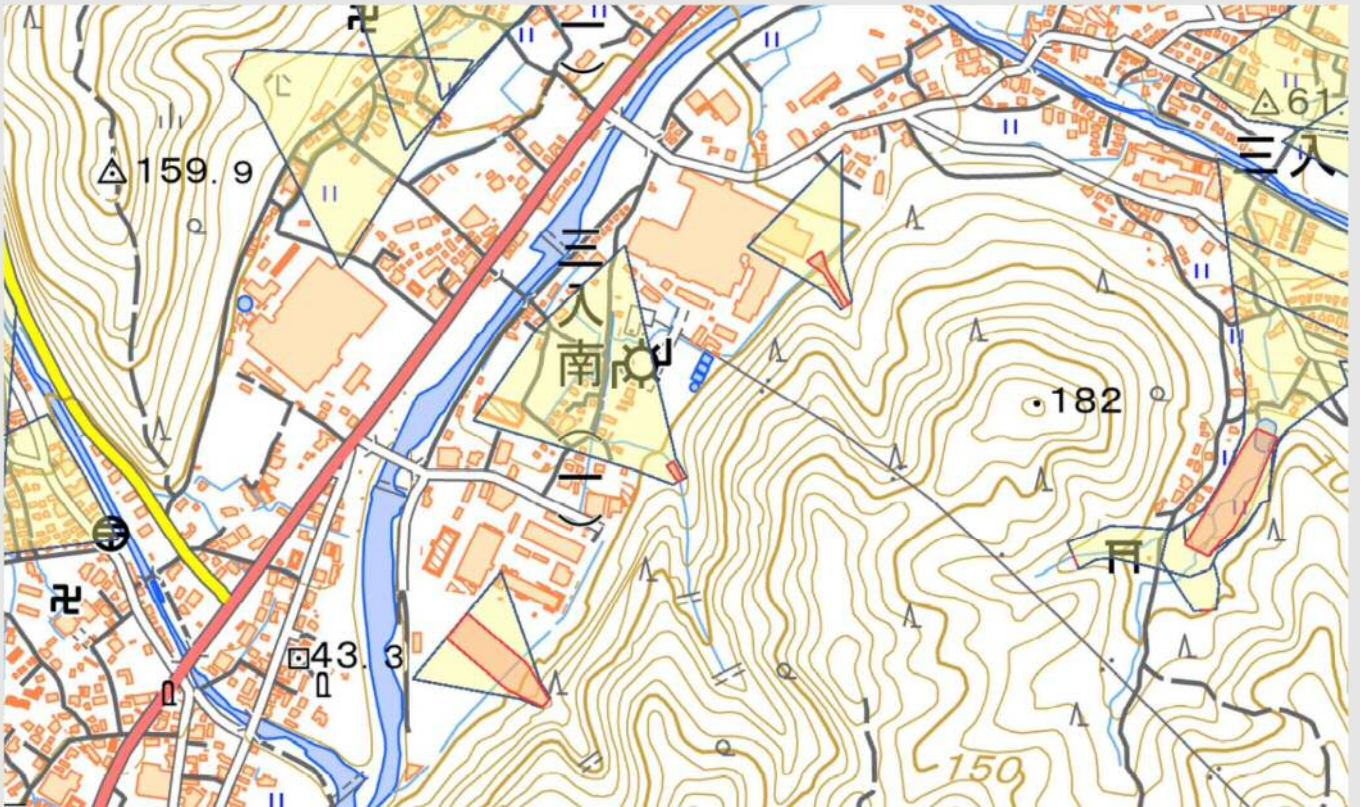




# 土砂災害警戒区域等の設定



## 土石流の場合

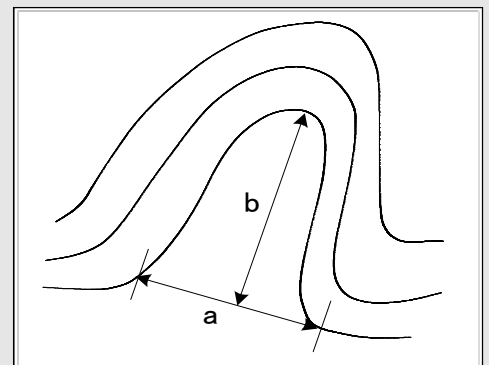
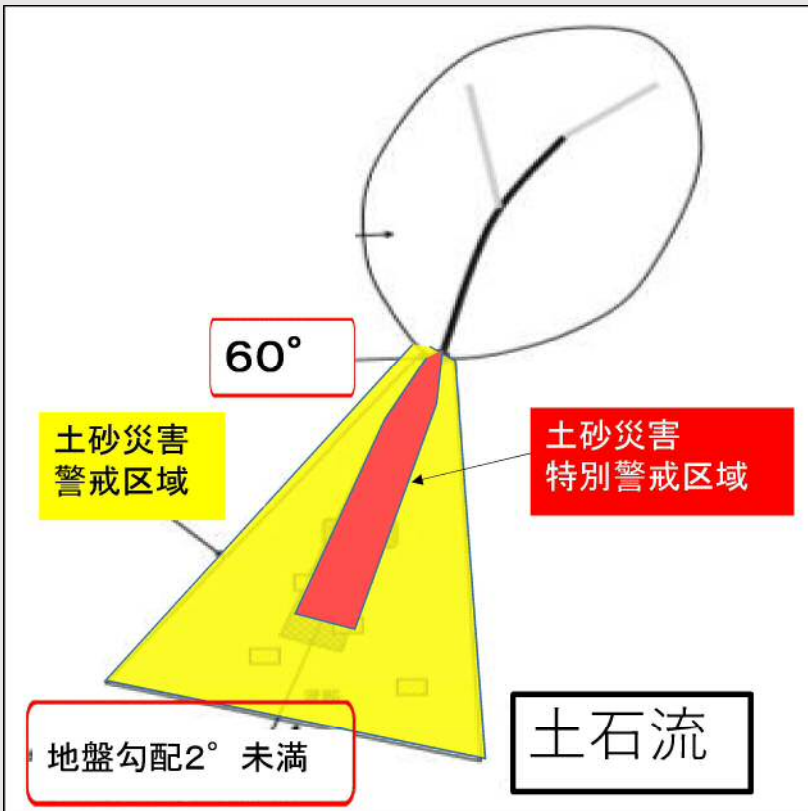


23

# 土砂災害警戒区域等の設定



## 土石流の場合



谷地形  $a \leq b$

24

# 土砂災害警戒区域等を確認する



土砂災害ポータルひろしま（スマホ版）確認する



25

# 土砂災害警戒区域等を確認する



土砂災害ポータルひろしま（スマホ版）確認する



②現在地をクリック



※ 黄色・・・土砂災害のおそれがある区域  
赤色・・・土砂災害のおそれがある区域の中でも、大きな被害が生じるおそれがある区域

26



# 土砂災害警戒区域等を確認する



土砂災害ポータルひろしま（スマホ版）確認する



① 見たい箇所をクリック



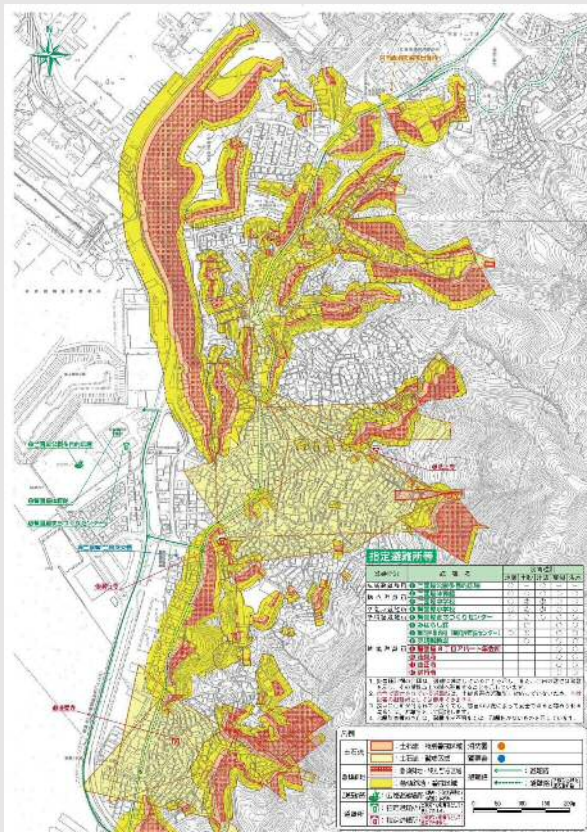
② 表示をクリック

見たい区域をクリックすると下に区域の情報が表示されます。その後、警戒区域平面図の「表示」をクリックすると区域図が見られます。

# 土砂災害警戒区域等を確認する



市町作成のハザードマップで確認する





# 土砂災害警戒区域等と土砂災害発生事例の比較

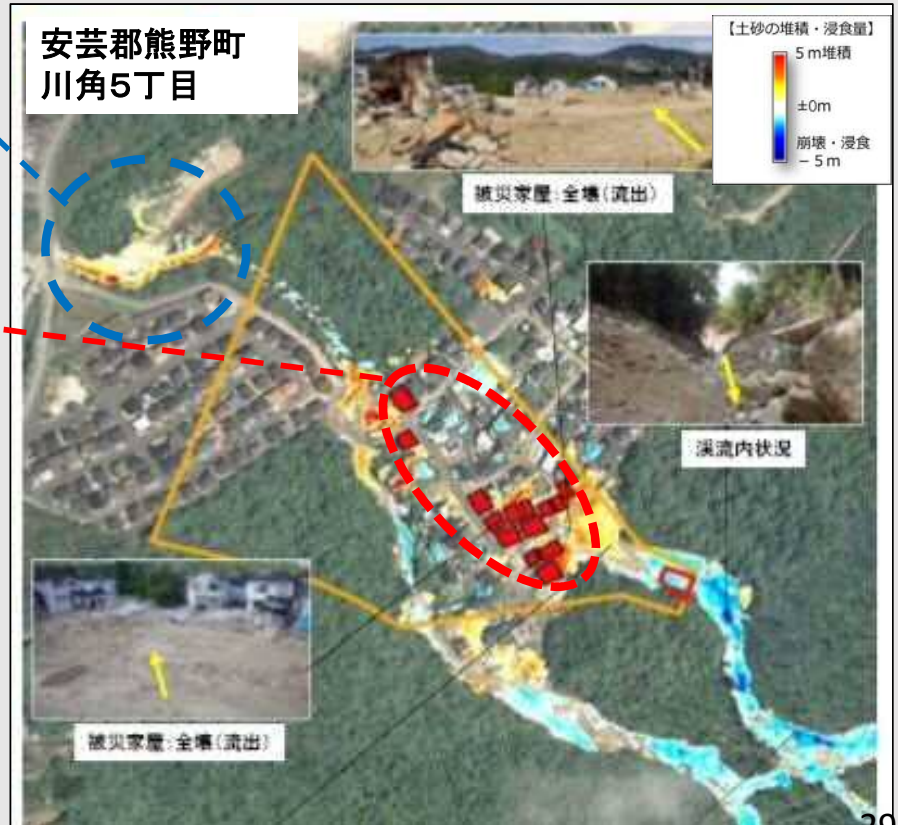


土砂災害警戒区域等の外側の危険性（平成30年7月豪雨の例）

土砂災害警戒区域（イエロー区域）を超えて土砂が流出している。

土砂災害警戒区域（レッド区域）を超えて家屋被害が発生している。

- ・イエローの外であっても土砂が流出してくる可能性がある。
- ・レッドの外であっても家屋被害が生じることもある。



29

## 土砂災害から身を守るために



### 1 土砂災害リスクを『知る』

⇒土砂災害防止法，土砂災害警戒区域等

### 2 危険が迫っていることを『察知する』

⇒土砂災害危険度情報，Yahoo!防災アプリ等

### 3 判断して，適切に『行動する』

⇒防災活動の良好事例

30





## 「土砂災害危険度情報」とは

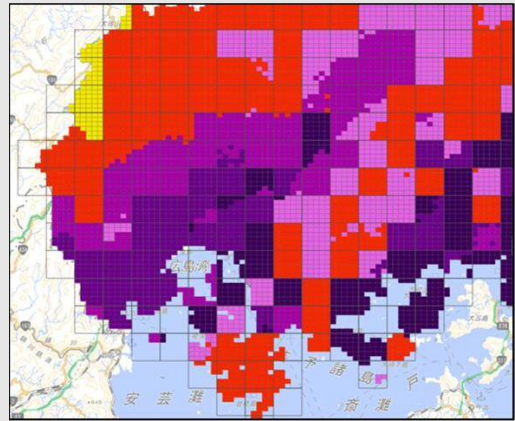
土砂災害発生危険性が高まった際に発表する「土砂災害警戒情報」の内容を補足する情報として、地域の詳細な土砂災害発生危険度を示すもの。

「土砂災害警戒情報」



(市町単位での発表)

「土砂災害危険度情報」  
(メッシュ情報)



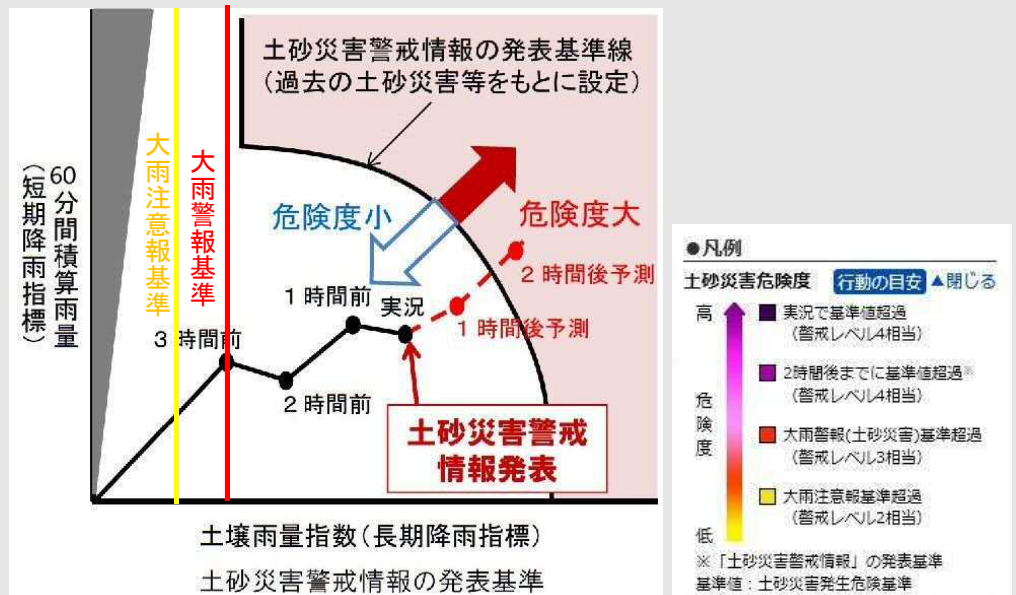
(1 kmメッシュの情報)

## 「土砂災害危険度情報」のしくみ



「土砂災害警戒情報」の発表基準を過去の災害発生・非発生時の雨量データをもとに、地域ごとに設定しています。

設定にあたって、土砂災害は、地中にたくさんの雨が貯まったところに強い雨が降ると、発生しやすくなるという特徴があることが考慮されています。



# 「土砂災害危険度情報」の確認



## 土砂災害危険度情報の確認方法（土砂災害ポータルひろしま スマホ版）

①クリック

# 「土砂災害危険度情報」の確認



## 土砂災害危険度情報の確認方法（土砂災害ポータルひろしま スマホ版）

現在地の危険度情報を表示

②クリック

③クリック

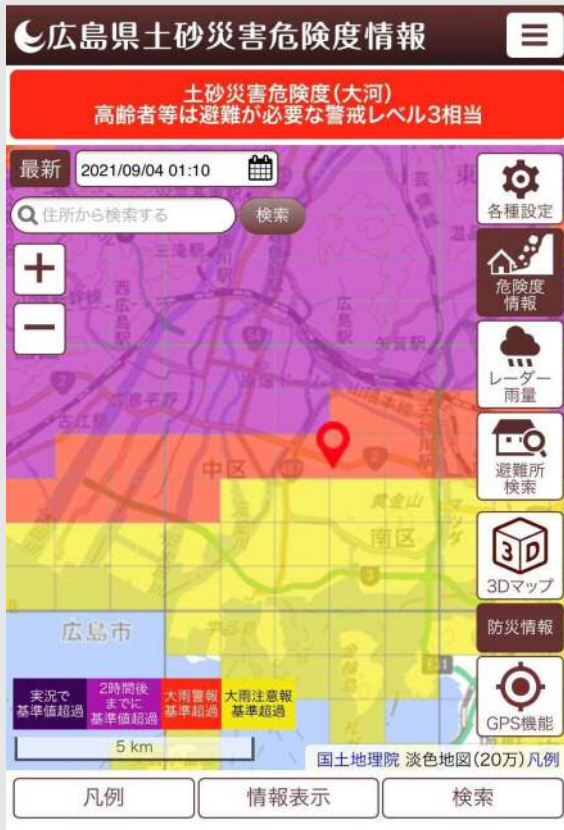
位置情報の利用を許可すると、現在地の危険度情報が表示されます。



# 「土砂災害危険度情報」の確認



土砂災害危険度情報の確認方法（土砂災害ポータルひろしま スマホ版）



土砂災害危険度情報が表示されます。  
 上部には現在地の警戒レベルが表示されます。

●凡例

土砂災害危険度 行動の目安 ▲閉じる

高 ↑

- 実況で基準値超過 (警戒レベル4相当)
- 2時間後までに基準値超過※ (警戒レベル4相当)
- 大雨警戒(土砂災害)基準超過 (警戒レベル3相当)
- 大雨注意報基準超過 (警戒レベル2相当)

危険度 ↓

低

※「土砂災害警戒情報」の発表基準  
 基準値：土砂災害発生危険基準

# 「土砂災害危険度情報」の確認



土砂災害危険度情報の確認方法（Yahoo!防災情報）

災害の情報をいち早くお知らせ

## YAHOO! 防災速報 JAPAN

今すぐアプリをダウンロード!

iPhone 版 App Store からダウンロード

Android 版 Google Play でダウンロード

<https://emg.yahoo.co.jp>

大雨警戒時の確実な避難につながる取組として、ヤフー株式会社と連携し、共同開発していた『防災マップ(大雨警戒レベルマップ)』を令和元年6月25日から運用開始しました。これにより、全国同時に土砂災害警戒区域の認知度向上や避難につながる危険の周知が可能となります。

## 土砂災害危険度情報の確認方法（Yahoo!防災情報）

**地域の登録方法**

**1 初期設定を始める**

**2 現在地通知機能を設定する**

**3 通知を受け取る地域を設定する**

**4 設定の完了**

**マップ確認の流れ**

スマホ画面の確認

1 プッシュ通知をタップ

通知情報の確認

2 リンクをタップ

登録地域のマップ確認

3 現在地表示（縮尺を拡大）

現在地のマップ確認（拡大）

4

# 土砂災害から身を守るために

## 1 土砂災害リスクを『知る』

⇒土砂災害防止法，土砂災害警戒区域等

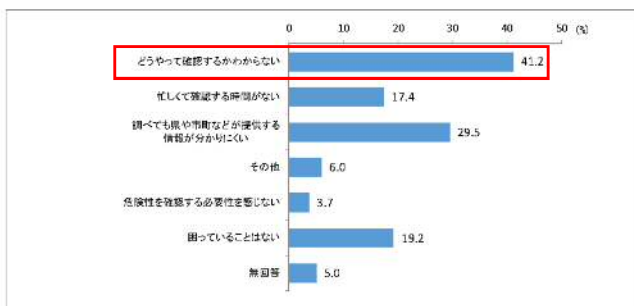
## 2 危険が迫っていることを『察知する』

⇒土砂災害危険度情報，Yahoo!防災アプリ等

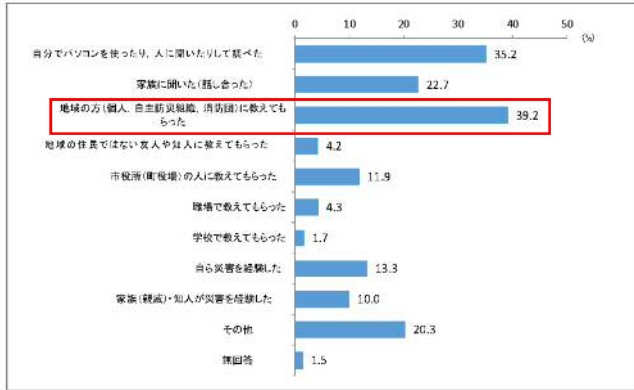
## 3 判断して，適切に『行動する』

⇒防災活動の良好事例





災害の危険性を確認するに当たって、困っていること (問15)



災害の危険性を知ったきっかけ (問13)

【行動目標】身の周りの災害危険箇所などを「知る」

## 有識者による分析や示唆など

○ **災害の危険性について、未だにどうやって確認するかが分からない人が4割**(「41.2%」)もいることは、大きな課題として受け止めざるを得ない。**住んでいる地域の危険箇所についての確認方法の一層の周知が必要である。**

○ **災害の危険性を知ったきっかけとして、「地域の方に教えてもらった」という人の割合が最も高い**ことから、引き続き、自主防災組織等に対して、住民への啓発活動を働きかける必要がある。

○ 災害危険箇所等の確認方法の周知については、多様な手段を検討していく必要がある。

# 防災活動の良好事例 (自治会による事前の取組)



## 避難行動により命を守った事例 (東広島市洋国団地)



- **災害発生状況等**  
東広島市黒瀬町洋国団地では約50軒ある人家のうち、約10戸が全半壊、約20戸が床下浸水。**人的被害はゼロ。**
- **災害の経緯**  
7月6日 17:50 土砂災害警戒情報発表  
19:45ごろ 避難指示(緊急)を発令  
7月7日 5:30ごろ 土石流発生

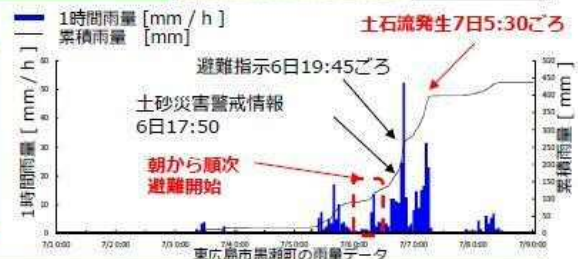
### 洋国団地における事前の取組

- 団地内の自治役員会にて**防災マニュアルや防災マップを作成**
- 自力で避難するのが難しい住民の避難を支援する「**担当者**」を予め設定
- 平成26年の災害をきっかけに**年2回**、土砂災害を想定した**避難訓練を実施**
- **自治会費で防災ラジオを購入し全戸配布**



### 豪雨発生当時の行動

- 溪流の合流点付近に住む高齢女性は、「**川の流りが気持ち悪い**」と感じ、6日の16時頃**自主避難**
- 団地内の高齢者夫婦は6日20時過ぎに、「**担当者**」である**男性に車で迎えにきてもらい避難**
- **土砂が流れる中、高齢者を背負って運んだ人もいた**



### 元民生委員児童委員の方の声

- 「訓練のおかげで、知識は身につけていた。避難所に**自主的に集まった**。また、動きの取れない人を動かす手順も分かっていた」
- 「**平素から団地内で避難時の想定をしていたこと、コミュニケーションを取っていたことが、いざというときの素早い避難につながったのではないかと**

【出典】国土交通省ホームページ



# 防災活動の良好事例（自主防災組織による避難の呼びかけ）



## 自主防災組織の呼びかけを契機に避難を実施して命を守った事例(熊本県小国町)

おぐにまち

- 熊本県阿蘇郡小国町杖立温泉で、杖立温泉観光協会及び旅館5軒が土砂流入により甚大な被害が発生。
- 協会事務局で警戒のため待機していた協会職員をはじめとして、旅館の関係者も、自主防災組織の呼びかけを契機に事前に避難しており人的被害を免れた。

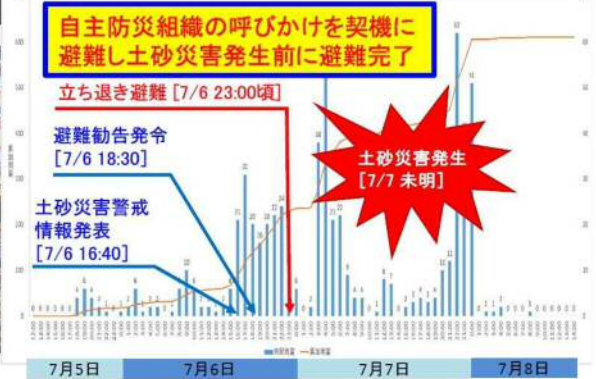
【災害の経緯:令和2年7月豪雨】

6日(月) 15:25 大雨警報発表  
 16:40 土砂災害警戒情報発表  
 18:30 避難勧告発令  
 18:30 自主防災組織による避難の呼びかけ開始  
 23時頃 立ち退き避難  
 7日(火) 未明 土砂災害発生

小国観測所 雨量状況

|          |       |                        |
|----------|-------|------------------------|
| 連続雨量     | 610mm | (7月 5日 18:00~ 8日 8:00) |
| 最大24時間雨量 | 370mm | (7月 7日 0:00~ 7日 24:00) |
| 最大時間雨量   | 63mm  | (7月 7日 4:00~ 7日 5:00)  |

【7月5日12:00から7月8日14:00までの時間雨量】



- 杖立温泉地区は、過去には1982年、93年に災害に見舞われ、93年には土砂災害で2名が亡くなった。
- 杖立温泉観光協会には警戒のため協会職員が待機していたが、自主防災組織の呼びかけを契機に事前に避難し助かった。
- 被災した旅館の関係者も自主防災組織の呼びかけを契機に事前に避難し人的被害を逃れた。
- この地区では自主防災組織があり、防災意識が高く当日の避難行動に繋がった。

【出典】国土交通省ホームページ 41

# 防災活動の良好事例（行政・自主防災組織・大学との連携）



## 「まるごと里ごと土砂防災及びハザードマップ」の取組【山形県】

### 【取組の背景・目的】

近年、局地的な豪雨・台風等により、全国各地で土砂災害が頻発している状況を踏まえ、地域住民が土砂災害のリスクを正しく認識し、自主的に警戒避難行動をとり、土砂災害から身を守る状況が生じている。

### 【取組の内容】

国土交通省新庄河川事務所と市町村、自主防災会、そして砂防を学ぶ大学等が連携して、地域の危険箇所の確認やハザードマップの作成及び避難誘導看板の設置等を行っている。



まるごと里ごとハザードマップ



地区役員の方々に趣旨説明会を開催(真室川町)



まち歩き 危険箇所などを確認(西川町)



DIG まち歩きの結果を地図を広げてみんなで検証(真室川町)



土砂災害ハザードマップ作成・配付



標識設置(真室川町)



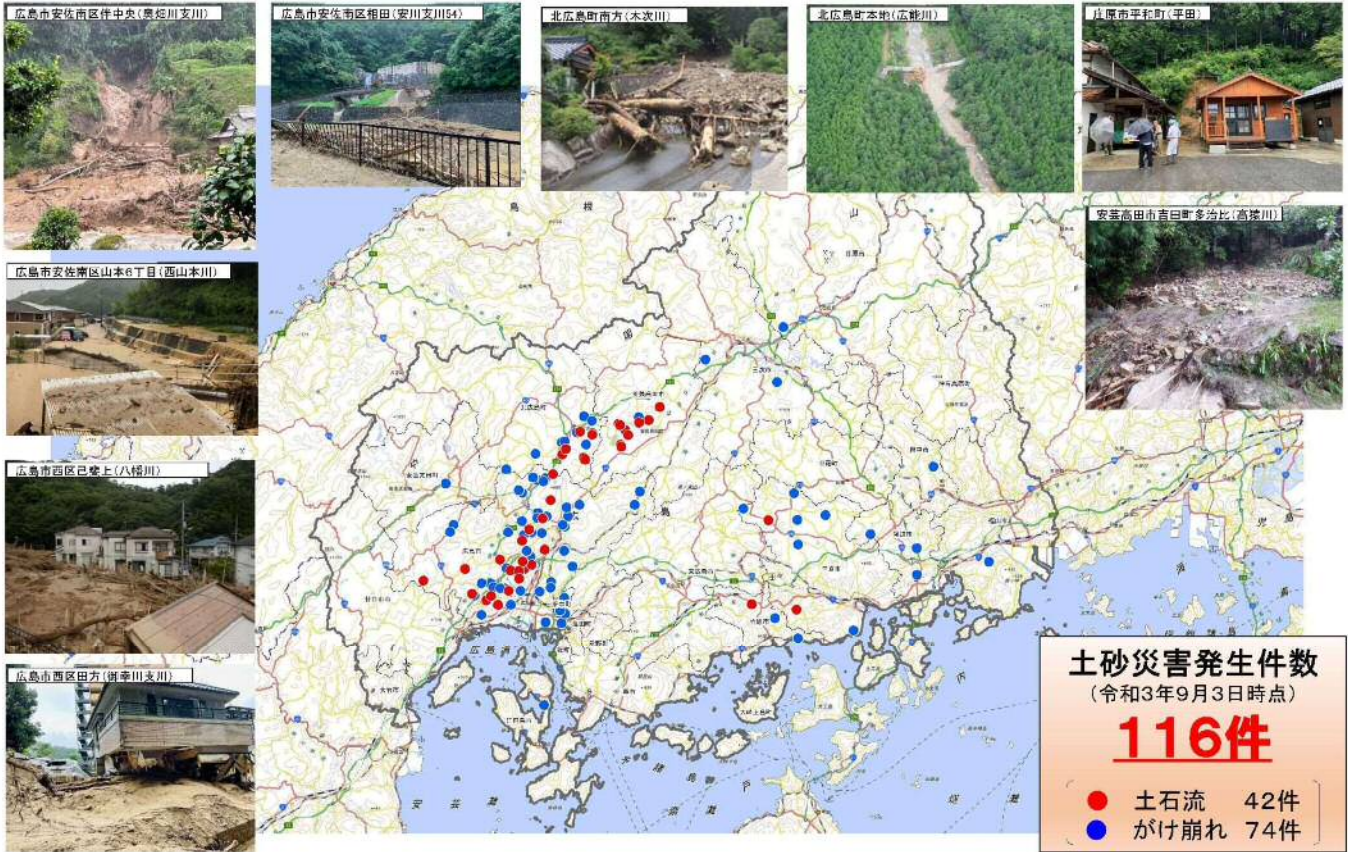
訓練・活用・評価 避難訓練および学習会(真室川町)



避難訓練および学習会(真室川町)



# 令和3年8月11日からの豪雨に伴う土砂災害発生箇所



## 広島市西区田方で発生した土砂災害の状況



- 広島県広島市西区田方(御幸川支川)において、多量の土砂や流木の流出により甚大な被害が発生
- 複数の家屋が、発生した大量の土砂により埋没するとともに、下流に位置する県道広島湯来線にまで土砂が流下し、住民生活に大きな影響





# 事前の避難により難を逃れた広島市西区田方の事例



- 広島市西区田方地区で複数の民家が巻き込まれる土砂災害が発生。
- 地域住民は、避難所へ事前に避難していた人が多く、人的被害はなかった。

**【災害の経緯】**

- 13日17:41避難指示
- 13日22:05土砂災害警戒情報
- 発災前に多くの人が避難
- 14日19時頃:災害発生

| No. | 指定緊急避難場所 | 所在地         | 土砂災害 |
|-----|----------|-------------|------|
| 1   | 高田小学校    | 高田一丁目5-1    | ○    |
| 2   | 西井公民館    | 西井一丁目146-22 | ○    |
| 3   | 田内上乗会館   | 田内二丁目6-12   | ○    |



【出典】国土交通省ホームページ 45

# 広島市安佐南区山本六丁目で発生した土砂災害の状況



- 広島県広島市安佐南区山本六丁目(西山本川)において、多量の土砂や流木の流出により甚大な被害が発生
- 複数の家屋が、発生した大量の土砂により埋没し、住民生活に大きな影響

位置図

発生箇所

広島駅

西山本川

土砂の氾濫範囲

土砂災害警戒区域

人的被害: なし  
被災家屋: 確認中

氾濫範囲や崩壊範囲については、ヘリ調査によるものであり、現地踏査による詳細な調査により変更の可能性があります

③ 土砂に埋没する家屋

① 上流の既設堤堰の状況

② 流木による被害状況

④ 大量の土砂が広く氾濫

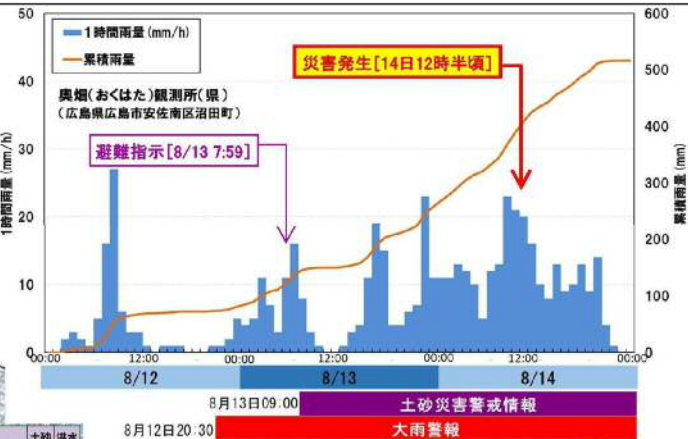
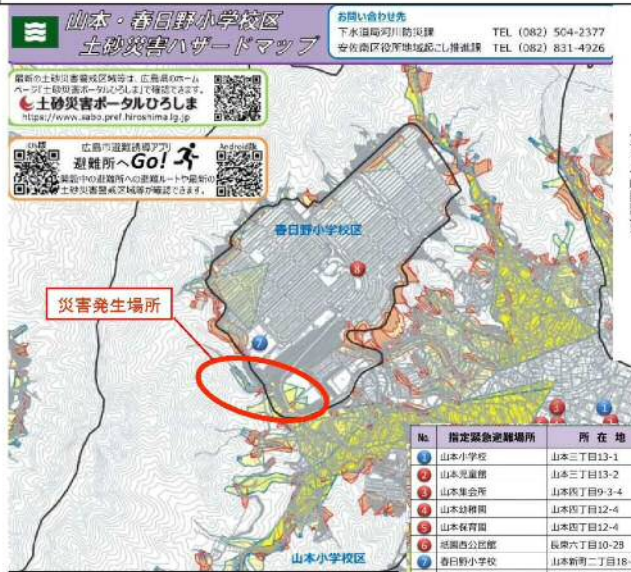
⑤ 大量の流木により押し流された車両



# 事前の避難により難を逃れた広島市安佐南区山本の事例



- 広島市安佐南区山本地区で、民家が巻き込まれる土砂災害が発生。
- 立退き避難に遅れた場合や困難になった場合の次善の策として、自宅2階へ垂直避難を行ったことにより、人的被害を免れた。



| No. | 指定緊急避難場所 | 所在地          | 土砂 | 洪水 |
|-----|----------|--------------|----|----|
| 1   | 山本小学校    | 山本三丁目13-1    | ○  | ○  |
| 2   | 山本児童館    | 山本三丁目13-2    | ○  | ○  |
| 3   | 山本集会所    | 山本三丁目9-3-4   | ○  | ○  |
| 4   | 山本幼稚園    | 山本三丁目12-4    | ○  | ○  |
| 5   | 山本保育園    | 山本三丁目12-4    | ○  | ○  |
| 6   | 徳島西公民館   | 長瀬六丁目10-29   | ○  | ○  |
| 7   | 春日野小学校   | 山本新町二丁目18-1  | ○  | ○  |
| 8   | 春日野集会所   | 山本新町二丁目23-34 | ○  | ○  |

- 【災害の経緯】**
- 13日07:59避難指示
  - 13日09:00土砂災害警戒情報
  - 発災前に自宅2階へ避難
  - 14日12時半頃：災害発生



【出典】国土交通省ホームページ

# 土砂災害リスクに関する住民理解の促進を図る広島県の取組



- 土砂災害警戒区域に対する地域住民の認知度向上を図るため、令和2年6月に策定した「標識設置実施計画」に基づき、令和2年度から5年度までの4年間で、土砂災害警戒区域等を有する県内420小学校区に土砂災害警戒区域や避難所等を示した標識設置の取組を推進。
- 小学校の多くは避難場所となっており、防災訓練や地域のイベント等により、地域住民の目に触れる機会が多いことから、原則、小学校の正門付近に設置
- 令和3年12月末時点で、47小学校区に設置済



標識レイアウト





# 避難の重要性を伝える広島県の取組



- 避難行動調査を踏まえ「率先避難」の重要性を伝えるポスターを作成
- 6月の土砂災害防災月間において、電車・バスの車内や交番、郵便局などにポスターを掲示して、避難の重要性を伝える取組を推進。

## 「呼びかけ避難」や「率先避難」を促す啓発ポスター

**「助け出す」より「連れ出す」ことをまず、考える。**

「呼びかけ避難」のポスター

**あなたの避難が、みんなの命を救う。**

災害時、避難した人のほとんどが、「まわりの人が避難したから」を理由に避難を決めています。だからこそ、まずあなたから、避難をはじめてください。そして、避難するには、地域で声を掛けあって「早めに避難」ができるよう、日頃から周囲の方々と話すなどの準備をお願いします。なお市町が指定する避難所にこだわらず、安全な場所にある親戚や知人宅など、「複数の避難先」を確保しておきましょう。

「率先避難」の重要性を伝えるポスター

**主な配布先**

- 広島電鉄・JR西日本
- 県内バス
- 交番・派出所
- 郵便局・病院
- 商業施設・小売店
- 小・中・高等学校
- 行政機関・市町関連施設

広島電鉄車内での掲示

# VRを活用した広島県防災教育の取組



- 確実な避難行動を促進するためには、豪雨災害に関する正確なイメージを持つことが重要（令和2年9月に実施した県政世論調査より）。
- 防災意識の向上を図るため、災害時の避難行動を疑似体験することが可能な「土砂災害体験VR」を制作し、小中学生向けの砂防出前講座等で活用。



広島県ではVRを活用した出前講座を推進しており、防災教室等への講師派遣や機器の貸し出しの希望がある場合は、砂防課又はみんなで減災推進課へご相談ください。



ゴーグルを着けて、VR技術で再現した土砂災害時の映像を見る作木小（三次市）の児童



VR画面



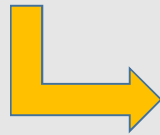
# 土砂災害を未来に伝える『地域の砂防情報アーカイブ』

(<https://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp/saboarchive/saboarchivemap/index.aspx>)



『地域の砂防情報アーカイブ』では、過去の土砂災害の記録を次世代に語り継ぎ、防災意識の向上に役立てるため、地域の皆様から提供された過去の土砂災害に関する写真や体験談などの貴重な記録を公開しています。

皆さまからの貴重な情報提供をお待ちしています。



◎画像をクリックして拡大する

●平成30年7月豪雨による被災状況(熊野町川角)

安芸郡熊野町 [写真位置図を表示](#)

平成30年7月はじめ、梅雨前線が日本付近に停滞し、台風第7号が北上して日本付近に暖かく非常に湿った空気が供給され続け、大雨となりやすい状況が続いたため、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となった。広島県では、7月3日から8日にかけての累積雨量は、多いところで676mmに達するなど、7月の過去の最大月間降水量を超える雨量をわずか6日間で記録し、安芸太

◆平成30年7月豪雨 ◆川角(熊野町) ◆コアストーン

|        |            |
|--------|------------|
| 写真位置番号 | 1          |
| タイトル   | 被災状況(1)    |
| 撮影年月日  | 2018/07/07 |
| 撮影者    | 熊野町 提供     |
| PDF表示  |            |